紀伊民報　2019年(令和元年)10月26日 土曜日　第23184号　日刊

全国高校ラグビー県大会

次の主役は僕たちだ

学校	日時（会場）
近大和歌山	
	11月4日 10:30（上）
新宮	
	10月27日 11:30（上）
和歌山北	
	11月14日 12:35（紀）
新翔	
	11月4日 12:00（上）
那賀	
	11月17日 14:35（紀）
熊野	
	11月4日 13:30（上）
田辺	
	11月14日 14:00（紀）
田辺工業	
	10月27日 12:45（上）
星林	
	11月4日 15:00（上）
和歌山工業	

（上：上富田スポーツセンター
紀：紀三井寺公園陸上競技場）

花園目指す3校紹介

ラグビーのワールドカップ（W杯）日本大会は、日本が初のベスト8に進出して盛り上がった。国内でラグビー熱が高まる中、27日には高校生が聖地「花園」を目指す全国高校ラグビーの県大会が上富田町朝来の上富田スポーツセンターで開幕する。田辺・西牟婁の熊野、田辺工業、田辺の3校を紹介する。

第99回全国高校ラグビー県大会は、10校がトーナメントで競う。上富田スポーツセンターでは27日に1回戦2試合、11月4日に準々決勝がある。14日の準決勝と17日の決勝はいずれも和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場である。

優勝校が、12月27日～1月7日に大阪府東大阪市の花園ラグビー場である全国大会に出場する。

熊野　ボール動かしトライへ

FK（フォワード）、BK（バックス）の人材がバランスよくそろっている。守備で粘ってボールを奪った後、パスを回し続けてトライにつなげるラグビーを目指す。

この夏には長野県の菅平高原での合宿や、上富田スポーツセンターで県外のチームを招いての合同合宿などでチーム力の向上に努めた。体の大きい選手が少ない分、走り続けるトレーニングを重視してきた。

BKは、スクラムハーフで主将の谷本を中心にパスを供給してスピードを生かす。谷本は「一人一人ラグビーが好きで仲が良く、試合になるとスイッチが入る。個人の能力が高く、ミスをしてもカバーできる力がある」と話す。

FWの要は副主将で体重100キロを超えるナンバー8の田上（比）。しっかりご飯を食べて体が大きくなりパワーが付いたといい、中央からのアタックやパスで貢献する。田上は「花園出場が目標。（準決勝で対戦する可能性がある）和歌山工業を倒してまずは決勝へ行きたい」と意気込みを語る。

3年生の男子マネジャー、田上（亮）は、練習の準備や試合の動画撮影、けが人のケアなど多方面でチームを支えてきた。田上は「本番までにけががないように、万全の状態で選手を送り出したい」と、選手と一緒になって戦う。

ラグビーW杯日本大会に参加したナミビア代表が9月、上富田町でキャンプをした。熊野のラグビー部員は同校生徒会と強力し、千羽鶴でナミビア国旗を作ったり、ナミビアカラーの青一色でチームを迎えるプロジェクトを企画したりした。

毎週金曜の夜には、上富田スポーツセンターで中学生までが対象の「シーカラグビーアカデミー」に部員が参加し、指導の手伝いをしている。

瀬越正敬監督（44）は「校外での活動もコミュニケーション能力を鍛える。自分たちがやって楽しく、見ている人も楽しいラグビーを目指している」と話している。

◇

選手＝谷口遥馬、小鮒和樹、南大智、柴山貴亮、谷中汰介、田上比以呂、谷本瑠佳、橋園祥季、川口耀大、芝田栞（以上、3年）、濱口怜仁、岡村泰希、矢野桂大、佐久間流夏、蒲田直希、西尾健、白木智隆、厚海純、田元隆太、中村奈義（以上、2年）、杵岩洸樹、中川治和、楠本真得、小山圭、深見悠馬（以上、1年）▽マネジャー＝田上亮太朗（3年）、雨積咲絵、深瀬捺希、松田美咲、松本佳凜（以上、2年）、井潤希良莉、尾崎しのぶ（以上、1年）

田辺工業　悲願の1勝へ戦力充実

選手は1年生9人がメンバーに加わって19人になり、人数不足が解消された。経験が少ない選手が多いためミスも出るが、明るく勢いがあり、自分たちのペースにはまったら止まらないチーム。

昨年の和歌山大会は15人ちょうどで出場し、けがの心配が絶えなかった。一昨年は他のクラブの部員を借りて出場。今年は新入生にビラを配るなどして熱心に勧誘した効果が出た。女子マネジャーも3人入部し、練習の時にはおにぎりを作ってくれるなど選手のサポートがより充実した。

5月の県高校ラグビー春季選手権大会は、1年生の経験が少ないため12人制の部に出場し、星林・新翔の合同チームと対戦した。その後、定期的に試合をこなし、夏休みは岐阜県の数河高原で合宿。近隣の田辺高校とは週に2回の合同練習をして、互いのレベルアップに努めた。

3年生は主将でフルバックの玉瀬1人。玉瀬は「今年は大会に出られるか心配したが、1年生が多く入って試合ができるようになり、夏合宿や試合で成長した。目標はまず1勝」と話す。

BKで頼りになるセンターの高根はスピードと突破力があり、和歌山県選抜にも選ばれた。FWでは、体が大きくパワーがあるナンバー8の林が中心になる。2年生の高根と林はともに副主将として玉瀬を支える。高根は「ガッツのあるチーム。試合中はスピードを上げてテンションを上げていきたい」、林は「自分から仕掛けてトライを狙う。ミスを少なくしてまずは1勝したい」と意気込む。

1回戦の相手は星林。悲願の初戦突破を目指す。三谷泰生監督（35）は「これまで取り組んできたことに自信と誇りを持ち、応援してくれる人への感謝の気持ちを力に変えてノーサイドの瞬間まで全力でプレーしてほしい」とエールを送っている。

◇

選手＝玉瀬英太郎（3年）、田中隼、阪本拓也、大川遥真、中田樹、林健太郎、松本拓馬、高根克真、岩本龍青、谷口洋介（以上、2年）、吉田尚宏、赤堀永治、野村弥、尾崎巧、彦路淳佑、宮本瑛大、橋本涼平、川脇悠聖、大原眞静（以上、1年）▽マネジャー＝中平なな、東生桜、平尾邑妃（以上、1年）

田辺　初戦突破へチーム一丸

2年生の選手9人が中心のチーム。受験などに備えて夏以降にチームを離れた3年生がどれだけ戻り、チームが一つになれるかが初戦突破の鍵になる。

練習は田辺工業高校と週に2回、合同でしている。夏休みには数河高原に田辺工業と一緒に合宿した。県外のチームと対戦してディフェンスを強化し、しっかり相手にぶつかることができるようになった。

2年生の高橋は体重92キロの大型FW。3年生で体格のいい井潤と松山がチームに戻れば、県内でも屈指のFW陣になるという。小学校からラグビーをしている高橋は「高校生になって視野が広くなり、ゲーム全体を見ることができるようになった」と手応えを語る。

田辺は初戦（準々決勝）で熊野と当たる。3年生が抜けたチームをまとめる2年生のBK早稲田は「ここ最近、熊野に負けているのでリベンジできるよう、いいディフェンスを心掛けたい」と話す。

夏以降、早い時期からチームに合流している3年生で主将のFW谷口はラグビーの理解度が高く、チームを盛り上げる声を出して攻守で頼れる存在だ。谷口は「春の大会の前に足を故障して満足に試合に出られなかった。その悔しさをこの大会でぶつけたい。個人のレベルは上がっているので、いつも通り楽しくプレーできたら」と意気込みを話している。

4月から顧問になった奥聖貴監督（26）は高校教員になって1年目。石川県出身で、国体成年男子ラグビーの和歌山県代表選手だ。「ラグビーを通じて仲間のことを思いやる気持ちや、協力することを教えられたら」と話している。

◇

選手＝井潤寿太郎、松山亮斗、谷口翔哉、前田航汰、宮坂勇輝、福山一茶、山崎航介、武田凜太郎（以上、3年）、高橋一途、寒川優生、桝井勇希、早稲田慶、中川智貴、上山斗樹、榎本優樹、竹本和馬、新田直（以上、2年）、宮山拓己、安宅天汰、小幡大陽（以上、1年）▽マネジャー＝赤木小夏（3年）、藤井杏香（2年）、北田莉子、桐本愛菜（以上、1年）